

日本鳥学会
2005 年度大会
講演要旨集
(電子・簡易版)

2005 年 9 月 16 日 (金) – 19 日 (月)
信州大学旭キャンパス (松本市)

日本鳥学会 2005 年度大会プログラム

会期 9月16日(金) 各種委員会、評議員会、自由集会
 9月17日(土) □頭発表、ポスタートーク、ポスター発表、自由集会
 9月18日(日) ポスター発表、総会、シンポジウム、懇親会
 9月19日(月) □頭発表、特別講演、自由集会

会場 一般講演・懇親会・各種委員会会場：
 信州大学旭キャンパス 〒390-8621 松本市旭 3-1-1
 □頭発表 A会場：共通教育センター 12番教室
 □頭発表 B会場：共通教育センター 13番教室
 ポスター会場 ポスター展示：学生食堂
 ポスタートーク：共通教育センター 13番教室
 自由集会：共通教育センター各教室
 懇親会：学生食堂
 各種委員会：理学部 2~6番教室
 評議員会：理学部 12番教室
 シンポジウム・特別講演・総会会場：
 長野県松本文化会館 〒390-0311 松本市水汲 69-2

日程

	16日(金)	17日(土)	18日(日)	19日(月)
9 —		□頭発表	ポスター発表	□頭発表
10 —				
11 —				
12 —		昼休み	昼休み	昼休み
13 —				
14 —	各種委員会	□頭発表	総会	特別講演
15 —				
16 —		ポスタートーク	シンポジウム	自由集会
17 —	ポスター発表			
18 —				
19 —	評議員会	自由集会	懇親会	
20 —	自由集会			

受付・クローク

- 受付を共通教育センター正面玄関に設置します。受付時間は16日が16:00から、17、18、19日は8:00からと致します。受付時に名札をお渡し致します。大会期間中は名札の着用をお願いします。
- クロークを共通教育センター2F 演習 B 教室に設けますので、ご利用ください。預かり時間は、17日と18日が8:00から18:30まで、19日が8:00から16:00までです。自由集会と懇親会にはクロークの荷物を引き取ってからご参加ください。

口頭発表

- 発表時間12分、質疑応答2分30秒を厳守して下さい。発表開始後10分で予鈴、12分で2鈴、14分30秒で終鈴を鳴らします。発表はOHPに限ります。OHPの操作は演者の方をお願いします。

ポスター発表（高校生のポスター発表を含む）

- ポスターセッションは、9月17日（土）と18日（日）の2回です。原則として、ポスター番号が奇数の発表は17日、偶数の発表は18日です。発表者は、時間内はボードの前で解説をお願いします。
- ポスターは両日とも掲載可能です。ポスターは、17日の11時からボードに貼ることができます。18日の遅くとも午後1時までには片付けてください。掲示用の画鋏とテープは会場に用意致します。
- ポスターサイズは、横85センチ、縦160センチ以内で用意ください。
- ポスタートーク（口頭によるポスター宣伝）は、17日の口頭発表終了後、B会場（13番教室）でおこないます。発表時間は2分、OHPを使用することができます。

自由集会

- 自由集会の開催時間は、16日が18:00～20:00、17日が18:30～20:30、最終日19日が16:00～18:00です。機材の貸し出し返却、会場の運営と片付けは主催者の責任でおこなってください。

展示ブース

- 大会中、会員の方が制作された絵や写真などの作品を展示するスペースを学生控室に設けます。ぜひご覧ください。
- また、業者の展示を同じ学生控え室で行いますので、ご覧ください。

総会

- 総会は、18日（日）の13:00～15:00に長野県松本文化会館で行います。学会員の方は極力出席ください。

昼食

- 17日（土）は、旭キャンパス内の旭会館の食堂で食事が可能です。18日（日）と19日（月）については、事前に弁当を予約され、受付時に弁当代を払われた方に、11:30分頃より受付付近で弁当をお渡しします。また、大会当日も朝の10時まで弁当の予約は可能です。

そのほか

- 移動のときはお静かに：口頭発表会場となる共通教育センターには研究室が入っております。会場移動の際には、静粛をお願いします。
- ビデオ撮影のマナーについて：本大会では、講演のビデオ撮影は、演者がビデオ撮影を認めると意思表示されている場合に限り認めています。また、撮影される場合でも周囲の方にご迷惑にならないようお願いします。

シンポジウム

シンポジウムは、18日（日）の15:00～18:00、長野県松本文化会館 中ホールで開催します。

渡りをする猛禽類の生態と保全

オーガナイザー：中村浩志（信州大・教育）・堀田昌伸（長野県環境保全研）・植松晃岳（信州タカ渡り研）

渡りをする猛禽類、その代表であるサシバとハチクマについて、最近の研究で繁殖や渡りの生態などが徐々に明らかになりつつあります。今回のシンポジウムでは、サシバとハチクマの2種を中心に渡りをする猛禽類について、それぞれの分野で研究されている方々に話題提供していただくとともに、これからの研究課題や保護のあり方と課題について議論していただきます。

司会進行：堀田昌伸（長野県環境保全研）

Sa-1 渡りをする猛禽類の生態特性

中村浩志（信州大・教育）

Sa-2 サシバ *Butastur indicus* の生息環境について

百瀬浩（中央農研・鳥獣害研究室）

Sa-3 繁殖期におけるハチクマの行動様式

植松永至（信州タカ類渡り研）

Sa-4 タカの渡り全国ネットワークの取り組みと今後の展望

熊崎詔之（タカの渡り全国ネットワーク）

Sa-5 タカ類の渡り衛星追跡

樋口広芳（東京大・農）

総合討論（40分）

座長：植松晃岳（信州タカ渡り研）

特別講演

特別講演は、19日(月)の13:00~15:30、長野県松本文化会館 国際会議室で開催します。

東南アジアにおける猛禽類研究と保護への取り組み

東南アジアには、絶滅の危機に瀕した多くの猛禽類が生息しています。そのような猛禽類のうち、フィリピンイーグルとジャワクマタカでは、生態研究や保護への取り組みが精力的に行われています。日本では、最近、クマタカの羽毛から遺伝的多様性を解明し、保護に応用する試みがはじまっています。今回は、それぞれの種にかかわっている三名の研究者に、これまでの研究で明らかになったことやそれらの種を保護する上での課題等についてお話していただきます。

司会進行： 中村浩志 (信州大・教育)

Sb-1 Conservation status of the Great Philippine Eagle

(フィリピンイーグルにおける保護の現状)

Dennis J.I. Salvador (Executive Director, The Philippine Eagle Foundation)

Sb-2 Research and Conservation of Indonesian Raptors in particular endangered Javan Hawk-eagle

(インドネシアに生息する猛禽類、特にジャワクマタカの研究と保護)

Dewi M. Prawiradilaga (Senior Scientist at Research Centre for Biology-LIPI)

Sb-3 野外採集羽毛を利用したクマタカ研究

浅井茂樹 (山階鳥類研究所)

コメンテーター 山崎亨 (アジア猛禽類ネットワーク)

通訳 田上真紀

口頭発表

9月17日A会場:

開始時間	座長	演題番号	演題 (○: 演者)
9:00	酒井すみれ	A-1-1	孤立した小さな残丘でなぜ2番いのオオタカの繁殖が可能なのか ○大堀聰・内田博
9:15		A-1-2	栃木県中北部におけるオオタカの繁殖期の行動圏と環境選択 ○堀江玲子・遠藤孝一・野中純・船津丸弘樹・長野大輔・尾崎研一
9:30		A-1-3	北海道におけるオオタカの営巣環境選択 ○工藤琢磨
9:45		A-1-4	集団営巣におけるチョウゲンボウの営巣密度と営巣場所立地条件の関係 ○本村健・北澤善政・田中俊行
10:00	白木彩子	A-1-5	エゾシカの残渣をあさるクマタカの生態—オジロワシ等他種との関係や年齢について— ○飯田知彦・嶋崎暁啓・佐藤喜和
10:15		A-1-6	ハチクマの繁殖生態と雛への給餌動物 ○阿部學
10:30		A-1-7	自然採餌条件におけるシマフクロウの繁殖給餌生態—その2 ○竹中健・高田令子
10:45		A-1-8	東京湾岸におけるコアジサシ (<i>Sterna albifrons</i>) の食物条件 ○松岡好美・藤田剛・樋口広芳
11:00	天野一葉	A-1-9	北アルプスに生息するライチョウにおける特定MHC対立遺伝子頻度の比較 ○馬場芳之・中村浩志・津田とみ
11:15		A-1-10	ニホンライチョウの遺伝的多様性と分化 中村浩志・所洋一・○森口千英子・四方田紀恵・馬場芳之
11:30		A-1-11	マイクロサテライト DNA を用いたニホンライチョウ (<i>Lagopus mutus japonicus</i>) の集団遺伝的構造解析 ○四方田紀恵・西海功・中村浩志
11:45		A-1-12	屋久島で繁殖するコマドリ <i>Erithacus akahige</i> の分類学的再検討 ○梶田学
12:00			昼休み
13:00	馬場芳之	A-1-13	アマミヤマシギ(<i>Scolopax mira</i>)の mtDNA 制御領域による遺伝的構造の解析 ○江田真毅・阿部慎太郎・鳥飼久裕・嵩原建二・小高信彦・小池裕子
13:15		A-1-14	亜種ナミエヤマガラ神津島個体群でみられる高い羽色変異 ○山口典之
13:30		A-1-15	東アジア産エナガ亜種の形態比較 ○新鞍彩子
13:45		A-1-16	沖縄島のシロガシラ <i>Pycnonotus sinensis</i> 個体群の起源と急速な形態の変化 ○山崎剛史
14:00	齋藤武馬	A-1-17	音声の比較による沖縄島生息シロガシラの原因地の推定 ○中村和雄
14:15		A-1-18	リトルペンギン2亜種における方言の可能性 ○宮崎正峰・中川震一

14:30	A-1-19	希少海鳥類の性染色体特異的 DNA 配列による性判定 ○長井和哉・川上和人・長谷川博・小原良孝・黒尾正樹
14:45	A-1-20	外部形態でケリの性判定はできるか？ ○脇坂英弥・中川宗孝・脇坂啓子・伊藤雅信

9月17日B会場：

開始時間	座長	演題番号	演題 (○：演者)
9:00	山口典之	B-1-1	巣の捕食の危険に対する親の反応：捕食者の種類と営巣場所の特性の影響 ○水田拓
9:15		B-1-2	カワウのオスがメスより早く繁殖を開始するわけは ○福田道雄
9:30		B-1-3	コムドリ雄の plumage coloration の変異と繁殖行動 (2) … PC(頬斑)タイプと C (えりまき) タイプ雄の繁殖努力に違いがあるか？… ○竹中万紀子
9:45		B-1-4	騙しているのは数？—ジュウイチの雛による宿主操作— ○田中啓太・森本元・上田恵介
10:00	梶田学	B-1-5	雄の繁殖なわばり配置とつがい形成率の関係—空間明示型個体ベースモデルによるシミュレーション— ○藤田剛・樋口広芳
10:15		B-1-6	ハイガシラゴウシュウマルハシの社会構造 ○江口和洋・山口典之・上田恵介・高木昌興・永田尚志・R.Nosk
10:30		B-1-7	人工餌場へ現れたヤマドリ家族群とアブレ雄の行動について ○高橋松人
10:45		B-1-8	ウズラの社会的順位が精子運動活性に与える影響 ○中村雅彦・小須田健志・酒井秀嗣
11:00	早矢仕有子	B-1-9	ウミネコの卵黄内に含まれる雌親由来のテストステロン ○富田直樹・酒井秀嗣・佐藤恵・高木昌興
11:15		B-1-10	糞中コルチコステロンを指標としたオオタカのストレス測定 ○岩見恭子・山崎由美子・山田裕子・室伏三喜男・百瀬浩・飯塚康雄・岡ノ谷一夫
11:30		B-1-11	オオタカ <i>Accipiter gentilis</i> の精液の凍結保存の試み ○波多野幾也・楠比呂志
11:45		B-1-12	伝書バトの発熱 I I . 発熱の最終メディエーター ○野本茂樹
12:00			昼休み
13:00	藤田剛	B-1-13	ブッポウソウはカタツムリをなぜ巣へ運ぶのか ○江田伸司・丸山健司
13:15		B-1-14	ユリカモメが歩くときになぜか首を振った ○藤田祐樹
13:30		B-1-15	ウミネコとオオセグロカモメの卵産生コスト ○新妻靖章・綿貫豊
13:45		B-1-16	モズにおける親の性別と雛への餌分配様式の関係 ○日阪万里子・松井晋・高木昌興
14:00	水田拓	B-1-17	モズにおける親の繁殖努力と血液原虫に対する抵抗力のトレードオフ ○松井晋・仁位亮介・村田浩一・佐藤雪太・高木昌興

14:15	B-1-18	アカメガシワの種子散布者：季節・地域による違い ○上田恵介・佐藤重穂・吉野知明
14:30	B-1-19	まれな強風（2004年18号台風）によるアカゲラ営巣木損壊の特徴 ○松岡茂
14:45	B-1-20	カワウの営巣による森林の甲虫群集の変化 ○亀田佳代子・八尋克郎

9月19日A会場：

開始時間	座長	演題番号	演題（○：演者）
9:00	吉田保志子	A-2-1	京阪奈丘陵における農地の景観構造と鳥類との関係 ○中津弘・前中久行・夏原由博
9:15		A-2-2	林管理の鳥への影響 ○藤田薫・玉田千穂・篠原由起子
9:30		A-2-3	鳥類の生息に配慮した森林管理にむけて-都市緑地の場合- ○秋山幸也
9:45		A-2-4	土地被覆データから鳥類の生息をどのくらい予測できるか？ ○永田尚志・金井裕
10:00	前田琢	A-2-5	塊状およびパッチ状の森林におけるフクロウの分布状況 ○上野岳人・小金澤正昭・丸山直樹
10:15		A-2-6	噴火後5年を経た三宅島の森林における鳥類の生息状況 ○加藤和弘・樋口広芳
10:30		A-2-7	南大東島における亜種ダイトウコノハズクの雄の個体数とつがい数 ○高木昌興・赤谷加奈・斎藤篤思
10:45		A-2-8	北海道ウトナイ湖北岸におけるアカモズとシマアオジの減少 ○玉田克巳・葉山政治・梅木賢俊・高田雅之・富沢昌章
11:00	山浦悠一	A-2-9	北海道のタンチョウ1000羽を越える 正富宏之・○百瀬邦和・松本文雄・古賀公也・今野怜
11:15		A-2-10	アカガシラカラスバトの生態と保全 ○高野肇・星義男・関伸一・中野晃生・佐藤美香・鈴木創・湯村文子
11:30		A-2-11	ノグチゲラ・ヤンバルクイナ・ホントウアカヒゲの生息密度と、植生環境および外来種分布との関係～10年モニタリングの初年度報告～ ○小高信彦・外山雅大・我如古創・佐藤大樹・山田文雄
11:45		A-2-12	ソウシチョウの高密度生息状況下でのウグイスの動態と繁殖成功 ○東條一史・中村秀哉

9月19日B会場：

開始時間	座長	演題番号	演題（○：演者）
9:00	遠藤菜緒子	B-2-1	コアジサシの繁殖状況モニタリングに最低限必要な調査デザイン ○柴田英美・藤田剛・早川雅晴・戸津久美子・増田直也・樋口広芳・倉本宣
9:15		B-2-2	コアジサシは営巣環境を造る？ ○武田恵世
9:30		B-2-3	地上営巣性鳥類の雛用シェルターの効果 ○早川雅晴・箕輪義隆・高崎隆志・奴賀俊光・松岡好美・齊藤久芳・増田直也

9:45		B-2-4	千曲川中流域で繁殖するカワセミとヤマセミの繁殖期の餌内容 ○笠原里恵・中村浩志・加藤和弘
10:00	山口恭弘	B-2-5	島根県隠岐航路における海鳥の個体数と漁業資源との関係の検討 ○藤田泰宏・森茂晃
10:15		B-2-6	小笠原諸島で繁殖するクロアジアホウドリの採食海域の解明 ○川上和人・鈴木創・堀越和夫・千葉勇人・福田明・樋口広芳
10:30		B-2-7	北海道を北上するマガンの生息地利用 -ある生息地の環境変化は、 フライウェイ全体にどのような影響をもたらすのか? - ○牛山克巳・天野達也・川崎慎二・五十嵐真・諸橋仁美・中井惺・ 小山内恵子・高田雅之
10:45		B-2-8	採食地の質について情報が不完全な動物の空間分布 -行動ベース モデルを用いてマガンの採食個体分布を予測する- ○天野達也・牛山克巳・森口紗千子・藤田剛・樋口広芳
11:00	笠原里恵	B-2-9	水田地帯における繁殖期のカルガモの昼夜別の生息数と行動の違い ○東淳樹・熊谷徹
11:15		B-2-10	新潟県瓢湖で越冬したオナガガモ雄化個体の形態と行動(続報) ○千葉晃・本間隆平
11:30		B-2-11	水鳥が池沼に飛来すると水質はどう動くか? ~水鳥が飛来する池 沼の水質特性~ ○中村雅子・牛山克巳・江面康子・田尻浩伸・神谷要・嶋田哲郎・ 相崎守弘
11:45		B-2-12	御蔵島のオオミズナギドリのコロニーには、どのような微小菌類が 潜んでいるのか? ○糟谷大河・矢口貴志・大堀陽・西村和子・岡奈理子

ポスターセッション

9月17日(土) 15:50~18:20

9月18日(日) 9:30~12:00

会場：信州大学旭キャンパス学生食堂

* ポスターは両日とも展示可能ですが、発表は2日に分けておこないます。ポスター番号が奇数の方の発表は17日、偶数の方の発表は18日です。

* 発表番号にアンダーラインのある発表は、ポスタートーク(9月17日15:10~15:45 B会場)を希望されているものです。

* 高校生によるポスター発表は、P-01とP-06です。

- | 発表番号 | 演題(○:演者) |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|
| <u>P-01</u> | 粟島に生息するオオミズナギドリの研究
○山川あゆみ・川上友佳・岡崎郁美・山本麻希・馬場芳之 |
| P-02 | オオミズナギドリ雛の血中ストレスホルモン濃度の変化
○出口智広・大塚良子・井上裕紀子・和田勝・岡奈理子 |
| P-03 | オオミズナギドリの給餌パターンとヒナの成長 -両親は協調して子育てするか?-
○越智大介・井上裕紀子・岡奈理子・綿貫豊 |
| P-04 | 育雛期におけるオオミズナギドリの採食行動
○松本経・越智大介・綿貫豊・岡奈理子・武藤文人 |
| P-05 | 印旛沼の水鳥類の変遷
○箕輪義隆・桑原和之・長島充・小田島高之・奴賀俊光 |
| P-06 | 香川県東部におけるカモ科鳥類の分布の特徴
○太田真由・岡田拓哉・佐戸一生・三谷恵子 |
| P-07 | 標識調査に基づく瓢湖水禽公園(新潟県)におけるオナガガモの越冬生態
○本間隆平・千葉晃 |
| P-08 | 片野鴨池周辺における越冬カモ類の夜間採餌行動について
○田尻浩伸・大河原恭祐 |
| <u>P-09</u> | 繁殖期におけるカンムリカイツブリの採餌生態
○越智真之・佐原雄二 |
| P-10 | カイツブリのエササイズおよびエサ種選択実験
足立友克・○佐原雄二・桑原雅之 |
| P-11 | 大阪府岸和田市で繁殖するカイツブリのエサ生物について
○風間美穂 |
| P-12 | 河川におけるアオサギ(<i>Ardea cinerea</i>)の採餌場所と食性の季節変化
○南保亜哉児・松田佳奈子 |
| <u>P-13</u> | 月光がゴイサギの採食地選択へ与える影響
○遠藤菜緒子 |
| P-14 | 鬼怒川中流域におけるカワウの採食分布とアユ放流の影響
○松家大樹・藤岡正博 |
| <u>P-15</u> | 多摩動物園の野生アオサギの、繁殖期後期における分布
○白井剛 |
| P-16 | アオサギの営巣場所選択と樹木の成長量の関係
○上野裕介・澁谷千尋・野田隆史 |
| P-17 | カワウの営巣数調査法の検討-巣台営巣を例として-
○石田朗 |
| P-18 | 個体数の季節変化から見た関東地方におけるカワウのねぐらの特徴
○加藤ななえ・高木憲太郎・成末雅恵・福井和仁・金井裕 |

- P-19 東アジアにおける鳥類フライウェイ解明のためのカラーマーキング手法の課題
○須川恒・神谷要
- P-20 モズの移動-高原のモズはどこからどこへ?-
○今西貞夫・Haas, A. Carola・井戸浩之・佐藤英治・梶田あまね
- P-21 全国調査で見てきた秋のヒヨドリの渡りの特徴
○山口恭弘
- P-22 衛星追跡調査より判明したクロツラヘラサギの中継地
○山田泰広・植田睦之・尾崎清明・米田重玄・守分紀子
- P-23 春と秋のマガン (*Anser albifrons*) による渡り中継地利用パターン
○森口紗千子・天野達也・牛山克巳・藤田剛・樋口広芳
- P-24 カムチャッカ半島におけるガンカモ類フライウェイ湿地の水草資源量
○神谷要・須川恒・浜端悦治
- P-25 ロシアのウスリー川流域の湿原で繁殖するタンチョウとマナヅルの生息状況
正富宏之・Yuriy Shibaev・○古賀公也・Sergey Surmach・百瀬邦和・青木則幸
- P-26 日本におけるミヤマガラスの渡来地拡大の経緯
○高木憲太郎
- P-27 神津島に生息するナミエヤマガラスの個体数推定
○高橋雄史・山口典之
- P-28 男女群島におけるアカヒゲの生息状況
○関伸一・遠藤晃
- P-29 耕作地に点在する屋敷林の鳥類群集
○村田野人・竹原明秀
- P-30 広葉樹林の繁殖期鳥類群集はカラマツ林によって分断化されているのか?
○山浦悠一・加藤和弘・高橋俊守
- P-31 四万十川流域の暖温帯林における森林利用と鳥類群集の関係
○佐藤重穂
- P-32 ドラミング定点調査によるノグチゲラ *Sapheopipo noguhii* の繁殖個体群密度推定
○石田健・金森匡彦・大津佳代
- P-33 関東周辺における森林でのスポットセンサスの効率的な実施方法
○植田睦之・永田尚志・平野敏明・川崎真二
- P-34 石狩河畔の38年後: 草原の鳥類相は変わったか?
○黒沢令子・野沢亮吉・高田雅之
- P-35 北海道北部海浜域における草原性鳥類の植生利用について
○雲野明
- P-36 宮崎県におけるコシジロヤマドリの生態調査 (その1)
○田中亜紀子・芦澤幸二・續木靖浩・川路則友
- P-37 ヤマドリ放鳥に改善手段はあるか?
○川路則友・丸山哲也
- P-38 環境学習指導に於ける愛鳥教育の実践
○中川宗孝・脇坂英弥・上野きよ子・大植登
- P-39 鳥に乗ってちゃっかり移動? それともとろかっただけ?-ハシボソミズナギドリ斃死体から得られたマダニ生体-
○鶴見みや古・中森純也
- P-40 マレーシア・マリアウ盆地における鳥類のウモウダニ相
○黒木知美・長堀正行・田仲謙介
- P-41 The egg recognition and rejection behavior of the vinous-throated parrotbill parasitized by the common cuckoo
○Byoung-Soon Jang and Yun-Kyoung Lee
- P-42 農耕地の孤立林におけるアカゲラの営巣木分布の経年変化とその要因
○森さやか

- P-43 ササ林床におけるメジロの営巣特性について
○中村秀哉・東條一史
- P-44 絶滅危惧種ズグロカモメの営巣環境
○天野一葉・花輪伸一
- P-45 ダイトウメジロにおける尾羽の成長帯幅と翌年の繁殖成績
○堀江明香・高木昌興
- P-46 リュウキュウアカショウビンによるシロアリ塚への営巣とその選好性
○矢野晴隆・上田 恵介
- P-47 埼玉県の丘陵地のブッシュ内での暗間、繁殖種の繁殖成功率について
○内田博
- P-48 ウグイスの配属システム
○石川俊浩・斉藤大地・中村雅彦
- P-49 ソウシチョウ (チメドリ科) におけるメスのさえずりの機能
○齊藤智子・中村秀哉
- P-50 北陸地方に生息するケリの繁殖行動と共同防衛について
○高橋雅雄・大河原恭祐
- P-51 オーストラリア北部熱帯モンスーン域におけるセアカオーストラリアムシクイの社会構造と協同繁殖
○高木義栄・江口和洋・上田恵介
- P-52 鳥の繁殖期はいつからはじまるのか
○佐藤恵・酒井秀嗣
- P-53 ルリビタキは何色？
○森本元・上田恵介
- P-54 マガモとオナガカモの鳴管筋の酵素組織化学的性質
○土屋剛・松田紀孝・八重柏典子
- P-55 マガモの雌雄にみられる成長に伴う鳴き声の変化
○中村俊治・塚原直樹・柿崎美代・青山真人・藤原克彦・杉田昭栄
- P-56 ハシブトガラスとハシボソガラスにおける鳴き声と発声器官の種差
○塚原直樹・小池雄一郎・青山真人・藤原克彦・杉田昭栄
- P-57 ハシブトガラスにおける骨格の性差
○鎌田直樹・青山真人・杉田昭栄
- P-58 ハシブトガラスにおける羽毛の微細構造の性差
○李銀玉・渡辺潤・青山真人・杉田昭栄
- P-59 宇都宮大学構内におけるハシブトガラスとハシボソガラスの行動圏及び環境利用様式
○小池雄一郎・塚原直樹・鎌田直樹・野口瞳・青山真人・藤原克彦・杉田昭栄
- P-60 茨城県南部におけるハシボソガラスとハシブトガラスの営巣環境選択
○百瀬浩・吉田保志子・山口恭弘
- P-61 茨城県南部におけるハシボソガラスとハシブトガラスの繁殖生態
○吉田保志子・百瀬浩・山口恭弘
- P-62 チョウゲンボウの巣箱を鉄塔に設置してカラスを排除
○中島欣也・中島京也・中島知也・山上隆博・川越泰
- P-63 本州中部の高山帯に生息するカラスの分布と個体数
○小林真知・中村雅彦
- P-64 トキの雛の発育様相について
○福嶋碧・Mehdi Sargolzaei・祝前博明・野村哲郎・金子良則
- P-65 佐渡のトキ集団における集団遺伝的パラメータおよび遺伝的多様性の推移
○白井亜希子・Mehdi Sargolzaei・祝前博明・野村哲郎・金子良則
- P-66 ミトコンドリア DNA のコントロール領域とチトクロム b を用いた日本産メジロ (*Zosterops japonicus*) の亜種間の系統関係
○鐘築由香・永田尚志・椿宜高

- P-67 コアジサシ *Sterna albifrons sinensis* の遺伝的構造の解析-季節的な移動は集団構造に影響するか?-
○染谷さやか・西海功・藤田剛・樋口広芳
- P-68 ミトコンドリア DNA 分析によるアカゲラの遺伝的多様性の解析
○中村充博・鈴木祥悟・由井正敏
- P-69 日本のウグイスはフィリピンのウグイスのさえずりを区別するか?
○濱尾 章二・Maria J. S. Veluz・西海 功
- P-70 長野県北部におけるフクロウの食性-巢内に残された骨などの分析-
○滝沢和彦
- P-71 フクロウ *Strix uralensis* 巢内ヒナの摂食量と排出量
○樋口亜紀・阿部學
- P-72 北海道礼文島におけるサシバの標識と観察記録
○富川徹・小畑淳毅
- P-73 写真判読によるクマタカの換羽パターンの推定-初列風切・次列風切について-
宮川圭司・○香川裕之・三浦俊明
- P-74 ビデオ解析によるイヌワシの繁殖行動と不成功要因の推定
○前田琢・由井正敏
- P-75 育雛期におけるオオタカとハイタカの行動圏および環境利用
○安部文子
- P-76 山地人工林地帯におけるノスリの繁殖期の行動圏と環境利用
○遠藤孝一・堀江玲子・野中純・船津丸弘樹・長野大輔・内田博・村井英紀・葉山雅広・志賀亮介
- P-77 都市環境および非都市環境で繁殖するチョウゲンボウの採餌行動と利用 -餌資源の差異に関する研究-
○金清翔・今井絢子・本村健・村田浩一・勝野武彦

自由集会

9月16日 (金) 18:00~20:00

- M1 希少種であるオオタカの先行型保全手法の開発
工藤琢磨 (森林総研・北海道)・遠藤孝一 (オオタカ保護基金)・中嶋友彦 (GOS 企画)
会場：A (12 番教室)
- M2 ガンカモ類の個体数の継続的調査 モニタリングサイト 1000 ~2004 年度の報告と課題
村井英紀 (日本鳥類保護連盟)・呉地正行 (雁を保護する会)
会場：B (13 番教室)

9月17日 (土) 18:30~20:30

- M3 死体鳥類学実習
川上和人 (森林総研・多摩森林科学園)
会場：C (生物学生実験室)
- M4 猛禽類の調査研究と保護の手法について考える [第8回]
飯田知彦 (九州大・院、広島クマタカ生態研究会)
会場：A (12 番教室)
- M5 今考える、外来鳥類問題
金井裕 (日本野鳥の会)・石田健 (東京大)
会場：B (13 番教室)
- M6 ♪♪ 女ひとり、蝦夷地で大きなトリを見る ♪♪
早矢仕有子 (札幌大・法)・岩見恭子 (上士幌町立ひがし大雪博物館)・白木彩子 (北海道大・地球環境科学)
会場：E (25 番教室)
- M7 カワウを通して野生生物と人との共存を考える (その8)
-繁殖抑制の可能性と限界-
加藤ななえ・高木憲太郎 (バードリサーチ) ほか
会場：D (28 番教室)

9月19日 (月) 16:00~18:00

- M8 愛知県渥美半島 大山での陸上自衛隊ヘリコプター訓練問題 を考える
大羽康利 (伊良湖・大山検討会、渥美自然の会)
会場：D (28 番教室)
- M9 統計言語 R で一般化線形モデル解析-鳥屋にやさしい統計のお勉強-
山口典之 (立教大・理学)・齋藤大地 (国立科博)
会場：A (12 番教室)
- M10 第2回『音声データによる鳥類のモニタリング ADAM (Acoustic Data for Avian Monitoring) 一夜の鳥をモニタリングする』
石田健 (東京大)・松岡茂 (森林総研・北海道)
会場：B (13 番教室)

参加者名簿

(事前申し込み分)

会場地図

氏名	所属	発表	懇親会
安部 文子	北海道大・院・地球環境	P-75	○
阿部 學	ラブタージャパン (日本猛禽類研究機構)	A-1-6, P-71	
秋山 幸也	相模原市立博	A-2-3	
天野 弘朗	(財) 日本野鳥の会・愛知		○
天野 一葉	WWF ジャパン	P-44, M5	○
天野 達也	東京大・院・農・生物多様性	B-2-7, B-2-8, P-23	○
姉崎 麻美子			○
新井 清雄			
朝比奈 裕子	サンコファ・ネイチャーリサーチ		○
浅井 芝樹	(財) 山階鳥類研究所	Sb-3	○
葦原 沙都子	信州大・教育・生態研		○
東 淳樹	岩手大・農	B-2-9	○
馬場 芳之	九州大・比較社会文化	A-1-9, A-1-10, P-01	○
千葉 晃	日本歯科大・新浮歯・生物	B-2-10, P-07	○
出口 智広	(財) 山階鳥類研究所	P-02	○
江田 真毅	日本学術振興会	A-1-13, M3	○
江田 伸司	倉敷市立自然史博	B-1-13	○
江口 和洋	九州大・院・理	B-1-6, P-51, M5	○
遠藤 孝一	オオタカ保護基金・(財) 日本野鳥の会・栃木県	A-1-2, P-76, M1	○
遠藤 菜緒子	立教大・院・動物生態	P-13, M9	○
江崎 保男	兵庫県立大・人と自然博		○
藤巻 裕蔵			○
藤岡 正博	筑波大・井川演習林	P-14	○
藤澤 秀平	(株) 建設環境研究所		
藤田 剛	東京大・院・農・生物多様性	A-1-8, B-1-5, B-2-1, B-2-8, P-23, P-67	○
藤田 薫	(財) 日本野鳥の会・サンクチュアリ室	A-2-2	○
藤田 祐樹	東京大・院・農学生命	B-1-14, M3	○
藤田 泰宏	(株) アクションプラン	B-2-5	○
福田 真	信州大・教育・生態研		○
福田 道雄	東京都葛西臨海水族園	B-1-2	○
福井 和二		P-18	○
福嶋 碧	新潟大・院・自然科学	P-64	○
船津丸 弘樹	オオタカ保護基金	A-1-2, P-76	○
古川 かよこ			
呉 盈瑩	東京大・院・農・生物多様性		○
濱田 哲暁	東洋電化工業(株)		○
濱尾 章二	国立科博・自然教育園	P-69	○
原田 幸子	東京都立大・理・生物		○
原田 慎太郎	信州大・教育・生態研		○
橋口 大介	(株) 野生生物保全研究所		○
橋本 啓史	京都大・院・農		
畑 隆弘			○
旗智 美和			○
波多野 幾也	NPO 日本放鷹協会	B-1-11	○
早川 雅晴	千葉県立船橋法典高・水鳥研究会	B-2-1, B-2-3	○
林 宏			○
早矢仕 有子	札幌大・法	M6, M10	○
樋口 亜紀	早稲田大・教育・生物学	P-71	○

樋口 広芳	東京大・院・農・生物多様性	Sa-5, A-1-8, B-1-5, A-2-6, B-2-1, B-2-6, B-2-8, P-23, P-67	○
彦坂 清子	北海道海鳥センター		○
日野 輝明	森林総研・関西		○
平岡 考	(財) 山階鳥類研究所		○
平田 和彦	北海道大・水産		○
平田 友美	(株) ウエスコ大阪支社環境調査課		○
日阪 万里子	大阪市大・院・理	B-1-16	○
本田 百合子			
本間 隆平	新潟県野鳥愛護会	B-2-10, P-07	○
堀江 玲子	オオタカ保護基金、(財) 日本野鳥の会・栃木県	A-1-2, P-76	○
堀江 明香	大阪市大・院・理	P-45	○
堀本 尚宏			
堀田 昌伸	長野県環境保全研	Sa-3	○
李 銀玉	宇都宮大・農・動物機能形態	P-58	
飯田 知彦	九州大・院、広島クマタカ生態研究会	A-1-5, M4	○
今井 絢子	日本大・院・生物資源	P-77	○
今森 達也	(有) 北陸鳥類調査研究所		○
今西 貞夫	(財) 山階鳥類研究所	P-20	○
稲垣 一			
石田 朗	愛知県カワウ調査研究会	P-17	○
石田 健	東京大・院・農学生命	P-32, M5, M10	○
石垣 麻美子	名城大		
石川 俊浩	上越教育大・生物	P-48	○
岩淵 聖	NPO フィールドエッグ		
祝前 博明	新潟大・農	P-64, P-65	○
岩見 恭子	上土幌町立ひがし大雪博	B-1-10, M6	○
泉 洋江	北海道大・院・地域環境		○
Jang, Byoung-Soon	Inst. of Natural Ecosystem management, Republic of Korea	P-41	○
香川 裕之	東北緑化環境保全(株)	P-73	○
梶田 あまね		P-20	
梶田 学		A-1-12, M3	
鎌田 直樹	宇都宮大・農・動物機能形態	P-57, P-59	○
亀田 佳代子	滋賀県立琵琶湖博	B-1-20	○
上沖 正欣	立教大・理・生命理学		○
神澤良子			
神谷 要	(財) 中海水鳥国際交流基金財団	B-2-11, P-19, P-24, M5	○
金井 裕	(財) 日本野鳥の会・自然保護	A-2-4, P-18, M5	○
金田 聡子	東京農工大・院		○
鐘築 由香	東京大・院・農学生命	P-66	○
刈田 斉	(株) 地域環境計画		
笠原 里恵	東京大・農・緑地植物実験所	B-2-4	○
糟谷 大河	筑波大・生物資源	B-2-12	○
片桐 睦	NPO フィールドエッグ		
片岡 宣彦			○
加藤 晴弘	NPO バードリサーチ		
加藤 和弘	東京大・院・農学生命	A-2-6, B-2-4, P-30	○
加藤 ななえ	NPO バードリサーチ	P-18, M7	○
加藤 ゆき	神奈川県立生命の星・地球博		
川田 裕美	オオタカ保護基金		○
川越 泰	中部ワシタカ研究サークル	P-62	

川口 敏		M3	○
川路 則友	森林総研・野生動物研究領域	P-36, P-37	○
川上 和人	森林総研・多摩森林科学	A-1-19, B-2-6, M3	○
川上 友佳	新潟県長岡高	P-01	
川村 博史			
川村 七弥			
風間 美穂	きしわだ自然資料館	P-11	○
金 清翔	日本大・生物資源	P-77	○
北村 昭彦	(財) 日本野鳥の会・自然保護		○
小林 真知	上越教育大・生物	P-63	
小林 さやか	(財) 山階鳥類研究所		○
古賀 公也	阿寒国際ソルセンター	A-2-9, P-25	○
小池 重人	新潟市立白南中		○
小池 雄一郎	宇都宮大・農・動物機能研態	P-56, P-59	○
近藤 多美子			
河野 裕美	東海大		
小坂 秀樹	(株) 建設環境研究所		○
小高 信彦	森林総研・九州	A-1-13, A-2-11	○
工藤 琢磨	森林総研・北海道	A-1-3, M1	
熊野 彩	信州大・教育・生態研		○
熊崎詔之	タカの渡り全国ネットワーク	Sa-4	○
熊代 直生	環境科学(株)		○
呉地 正行	日本雁を保護する会	M2	○
黒田 治男			○
黒川 マリア	信州大・教育・生態研		○
黒木 知美		P-40	○
黒沢 令子	北海道大・院・地球環境	P-34	○
桑原 和之	千葉県立中央博	P-05	
Lee, Yunkyong	Inst. of Ornithology, Kyunghee Univ., Republic of Korea	P-41	○
前田 琢	岩手環境保健研究センター	P-74	○
真下 弘	(財) 日本野鳥の会・東京		
増川 勝二	(有) 北陸鳥類調査研究所		○
松田 賢	パシフィックコンサルタンツ(株)		
松井 晋	大阪市大・院・理	B-1-16, B-1-17	○
松家 大樹	筑波大・生物資源	P-14	○
松本 経	北海道大・院・水産	P-04	
松岡 茂	森林総研・北海道	B-1-19, M10	○
松岡 好美	東京大・院・農・生物多様性	A-1-8, B-2-3	○
三星 行雄			○
南谷 幸雄	高知大・院・農		○
箕輪 義隆	日本鳥類保護連盟	B-2-3, P05	○
三谷 恵子	香川県立三本松高	P-06	
宮崎 正峰	The University of Waikato	A-1-18	○
溝口 文男			○
水上 貴博	環境アセス・松本		○
水田 拓	東邦大・理・地理生態	B-1-1	○
百瀬 浩	中央農研・鳥獣害	Sa-2, B-1-10, P-60, P-61	○
百瀬 邦和	タンチョウ保護調査連合	A-2-9, P-25	
森 さやか	東京大・農学生命	P-42	○
森 茂晃	(財) ホシザキグリーン財団	B-2-5	○
森口 紗千子	東京大・院・農・生物多様性	B-2-8, P-23	○

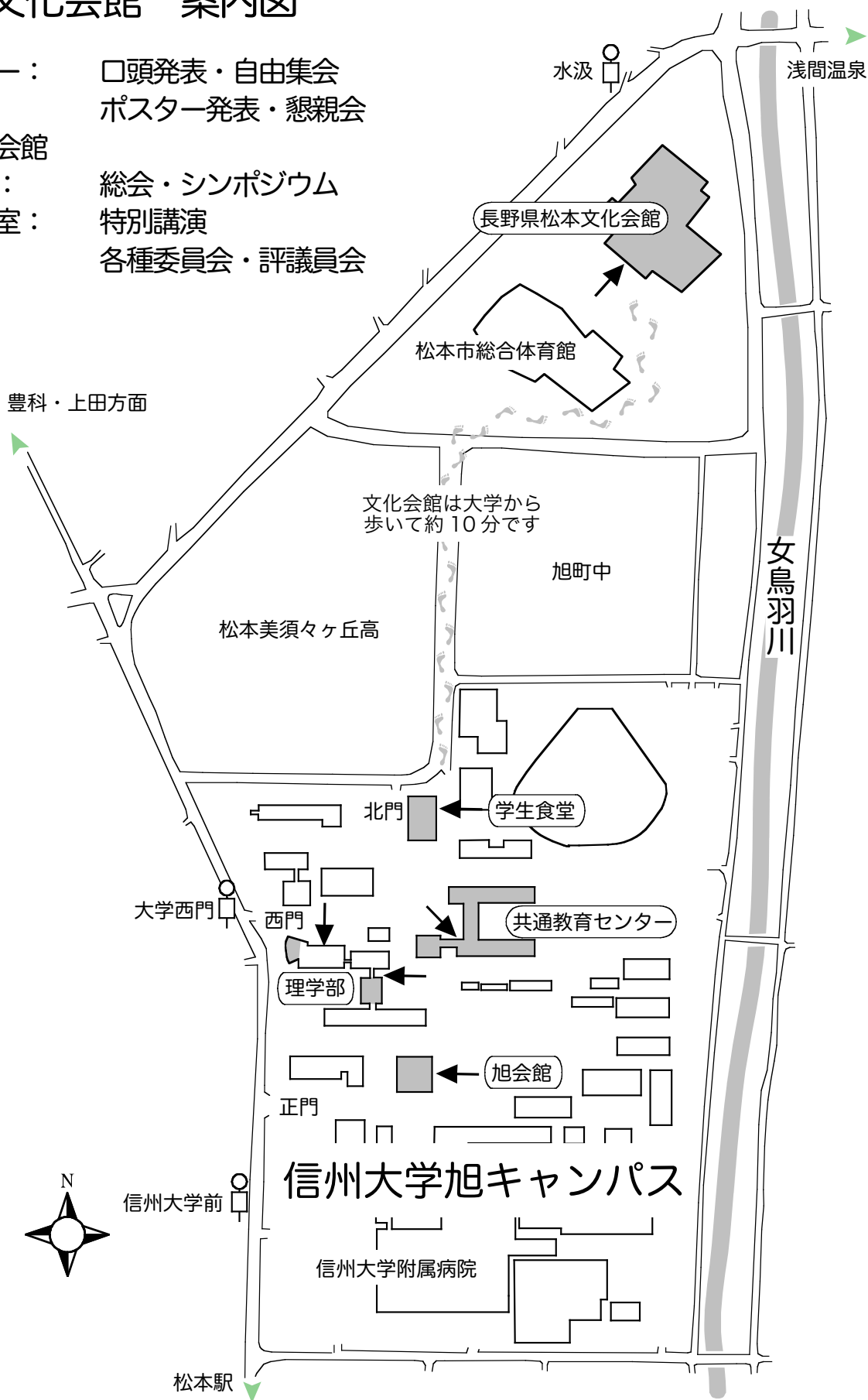
森口 千英子	信州大・教育・生態研	A-1-10	○
森本 元	立教大・院・理・生命理学	B-1-4, P-53	○
森分 泰三郎	(株) ウエスコ自然環境2課		
守屋 恵美子	東京大・院・農・生物多様性		
本村 健	中野市教育委員会事務局	A-1-4, P-77	○
村浜 史郎	(株) 野生生物保全研究所		○
村井 英紀	(財) 日本鳥類保護連盟	P-76, M2	
村上 亮	日本鳥類標識協会		○
村田 野人	岩手大・人文社会	P-29	
室谷 進	農業・生物計特定産業技術研究機構		
長井 和哉	弘前大・院・農学生命	A-1-19	○
長野 大輔	オオタカ保護基金	A-1-2, P-76	○
永田 尚志	国際研・生物多様性研究プロジェクト	B-1-6, A-2-4, P-33, P-66	○
中川 宗孝	巨椋野外鳥類研究会	A-1-20, P-38	○
中川 靖大	名城大		
中島 京也	日本ワシタカ研究センター	P-62	
中島 欣也	日本ワシタカ研究センター	P-62	
中村 浩志	信州大・教育	Sa-1, Sa-3, A-1-9, A-1-10, A-1-11, B-2-4	○
中村 和雄	沖縄大・法経	A-1-17	○
中村 雅彦	上越教育大・生物	B-1-8, P-48, P-63	○
中村 雅子	島根大・生物資源	B-2-11	○
中村 充博	森林総研・東北	P-68	○
中村 俊治	宇都宮大・農・動物機能研態	P-55	○
中村 秀哉	常盤大	A-2-12, P-43, P-49	○
中村 純夫			○
中村 司	(財) 日本野鳥の会		○
中村 豊	宮崎大・フロンティア科学実験総合センター・生物資源		○
中津 弘	大阪府大・院・農学生命	A-2-1	
中里 年文	名城大		
南保 亜哉児	弘前大・院・農学生命	P-12	○
成末 雅恵		P-18, M5	○
新鞍 彩子	京都大・院・理	A-1-15	○
新妻 靖章	名城大・農・環境動物	B-1-15	○
西海 功	国立科博	A-1-11, P-67, P-69	○
野口 和恵	(株) 四電技術コンサルタント		
野本 茂樹	東京都老人総合研・中枢神経	B-1-12	
野中 純	オオタカ保護基金	A-1-2, P-76	○
奴賀 俊光	千葉大・海洋バイオシステム研究センター		○
越智 大介	北大・院・水産	P-03, P-04	
越智 真之	弘前大・農学生命科学	P-09	○
大羽 康利	伊良湖・大山検討会	M8	○
大堀 聡	早稲田大・自然環境調査	A-1-1	○
太田 真由	香川県立三本松高	P-06	
岡 克彦	静岡県浜北西高		
岡 拓海			
岡 奈理子	(財) 山階鳥類研究所	B-2-12, P-02, P-03, P-04	○
岡田 拓哉	香川県立三本松高	P-06	
岡本 寿信	(財) 上越環境科学センター		
岡村 裕透			
岡崎 郁美	新潟県長岡高	P-01	

奥川 奈津子	(株) 地域環境計画		○
大坪 瑞樹	(株) 地域環境計画		○
大塚 之稔	(財) 日本野鳥の会・岐阜県		○
Prawiradilaga, Dewi M.	Research Centre for Biology-LIPI	Sb-2	○
リグ ホーファー 萌奈美	麻布大・獣医・動物応用		
佐戸 一生	香川県立三本松高	P-06	
佐原 雄二	弘前大・農学生命科学	P-09, P-10	○
斉藤 篤思	大阪市大・院・理	A-2-7	○
齋藤 武馬	立教大・理		○
齊藤 智子	茨城大・教育	P-49	
齊藤 安行	我孫子市鳥の博		○
酒井 秀嗣	日本大・歯・生物	B-1-8, B-1-9, P-52	○
酒井 すみれ	東京大・院・農・生物多様性		○
作山 宗樹	(株) ネクサス		
Salvador, Dennis J. I.	The Philippine Eagle Foundation	Sb-1	○
佐々木 洋和	(有) 北陸鳥類調査研究所		○
佐藤 恵	日本大・歯・生物	B-1-9, P-52	○
佐藤 重穂	森林総研・四国	B-1-18, P-31, M5	
関 伸一	森林総研・九州	A-2-10, P-28	○
関山 房兵	猛禽類生態研究所		○
柴田 英美	明治大・院・農	B-2-1	○
柴田 佳秀	(財) トトロのふるさと財団		○
繁田 祐輔	(株) 野生生物管理		
島貫 秀広			
新藤 著	(有) 北陸鳥類調査研究所		○
白井 亜希子	新潟大・院・自然科学	P-65	○
白井 聡一			○
白井 剛	都立大・理・動物生態	P-15	○
白木 彩子	北海道大・院・地球環境	M6	○
染谷 さやか	東京大・院・農・生物多様性	P-67	○
須川 恒	龍谷大・深草学舎	P-19, P-24	○
杉田 昭栄	宇都宮大・農	P-55, P-56, P-57, P-58, P-59	○
須河内 誠	西日本技術開発(株)		○
鈴木 豊			
田尻 浩伸	(財) 日本野鳥の会	B-2-11, P-08	○
高木 憲太郎	NPO バードリサーチ	P-18, P-26, M7	○
高木 昌興	大阪市大・院・理	B-1-6, B-1-9, B-1-16, B-1-17, A-2-7, P-45, M10	○
高木 義栄	森林総研・北海道	P-51	○
高橋 雅雄	金沢大・自然科学	P-50	
高橋 松人		B-1-7	○
高橋 満彦	富山大・教育		○
高橋 雄史	立教大・理・生命理学	P-27	
高野 肇	森林総研・多摩試験地	A-2-10	
武田 恵世	(財) 日本野鳥の会・三重県	B-2-2	○
竹田 伸一	いしかわ動物園		
竹中 健	シマフクロウ環境研究会	A-1-7	○
竹中 万紀子	北海道東海大	B-1-3	○
武下 雅文	日本鳥類標識協会		○
滝 朋子	香川県立三本松高	P-06	
滝沢 和彦	(財) 日本野鳥の会・長野	P-70	○
玉田 克巳	北海道環境科学研究センター	A-2-8	○

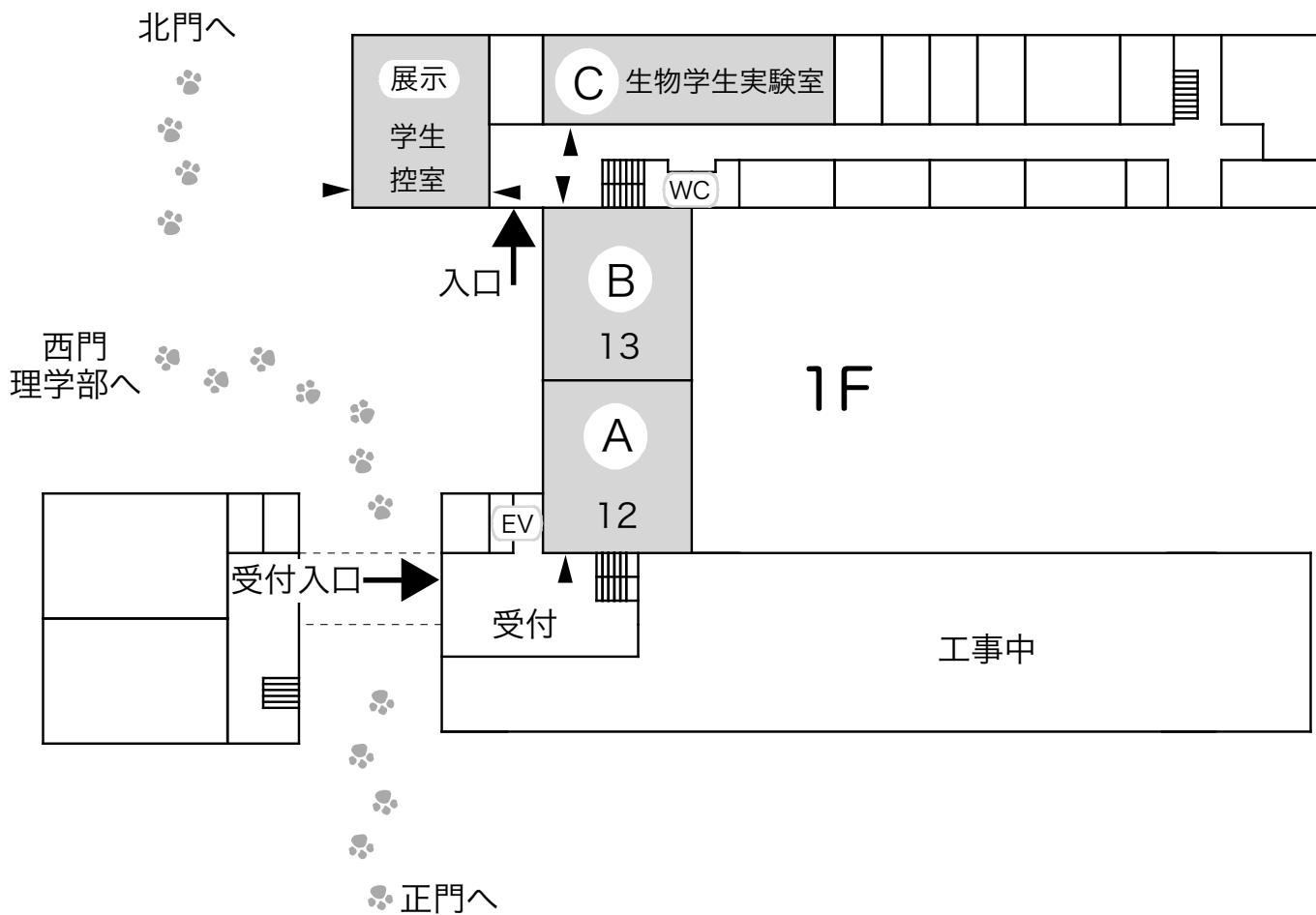
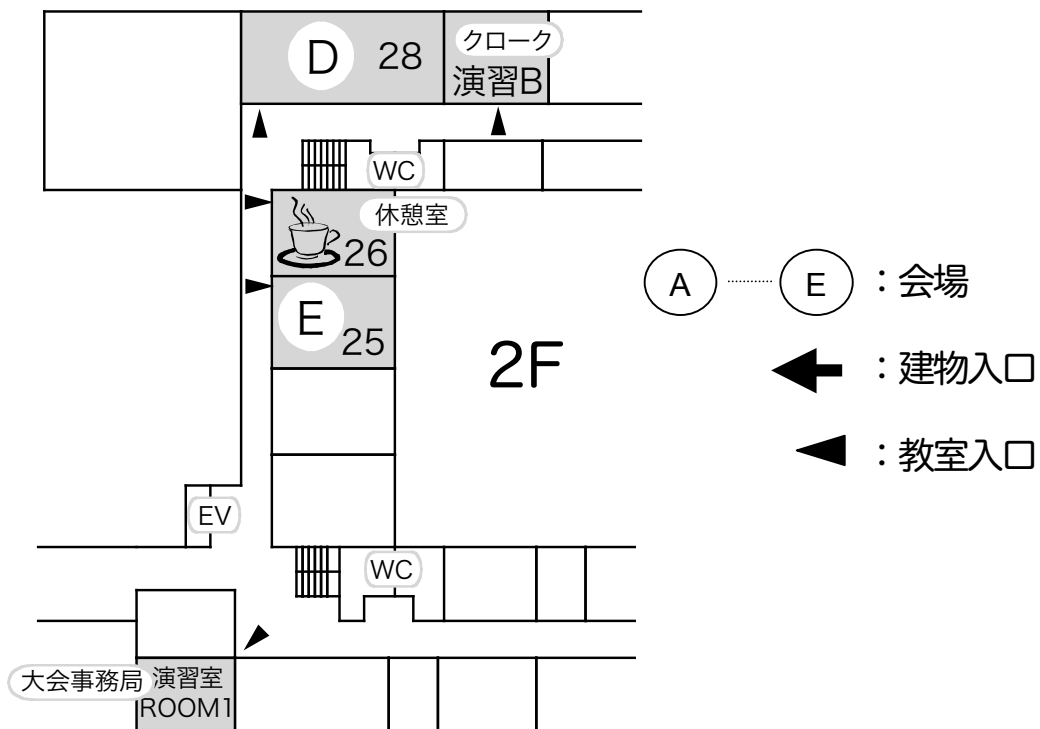
田中 亜紀子	宮崎大・院・農	P-36	
田中 啓太	立教大・院・理	B-1-4, M9	○
田仲 謙介		P-40	○
田中 忠	(財) 日本野鳥の会・熊本県		○
田上 真紀			○
東條 一史	森林総研	A-2-12, P-43, M5	○
時田 賢一	我孫子市鳥の博		○
富川 徹	(株) 野生生物総合研究所	P-72	○
富田 直樹	大阪市大・院・理	B-1-9	○
土屋 剛	石巻専修大・理工	P-54	
塚原 直樹	東京農工大、宇都宮大	P-55, P-56, P-59	○
鶴見 みや古	(財) 山階鳥類研究所	P-39	○
内田 博	比企ワシタカ研究会	A-1-1, P-47, P-76	○
上田 恵介	立教大・理	B-1-4, B-1-6, B-1-18, P-46, P-51, P-53	○
植松 晃岳	信州タカ渡り研	Sa-3	○
植松 永至	信州タカ渡り研	Sa-3	○
上野 岳人	宇都宮大・院・野生鳥獣管理	A-2-5	○
上野 吉雄			○
上野 裕介	北海道大・院・水産	P-16	○
植田 睦之	NPO バードリサーチ	P-22, P-33	○
馬田 勝義			
梅木 賢俊	北海道環境科学研究センター	A-2-8	○
雲野 明	北海道立林業試験場・道北	P-35	
浦野 栄一郎	(財) 山階鳥類研究所		○
牛山 克己		B-2-7, B-2-8, B-2-11, P-23	○
若狭 喜弘	人と生き物サポート		○
脇坂 英弥	(財) 日本野鳥の会・サンクチュアリ	A-1-20, P-38	○
渡部 良樹	(株) 環境管理センター		
渡辺 朝一			○
矢地 大	西日本技術開発(株)		
矢作 英三	NPO フィールドエッグ		
山田 泰広	(財) 日本野鳥の会・自然保護	P-22	○
山上 隆博	中部ワシタカ研究サークル	P-62	
山口 典之	立教大・理・生命理学	A-1-14, B-1-6, P-27, M9	○
山口 恭弘	中央農研・鳥獣害	P-21, P-60, P-61	○
山川 あゆみ	新潟県長岡高	P-01	
山本 明	上越鳥の会		
山本 麻希	新潟県長岡高	P-01	
山根 みどり	日本鳥類標識協会		○
山崎 剛史	山階鳥類研究所	A-1-16, M3	○
山浦 悠一	東京大・農・緑地植物実験所	P-30	○
山脇 諒子	名城大・農・生物資源		
山崎 亨	アジア猛禽類ネットワーク		○
矢野 晴隆	立教大・理・動物生態	P-46	○
横山 美津子			
四方田 紀恵	信州大・教育・生態研	A-1-10, A-1-11	○
吉田 保志子	中央農研・鳥獣害	P-60, P-61	○
吉田 保晴	駒ヶ根市博		○
湯浅 健吾	信州大・教育・生態研		○
由井 正敏	岩手県立大・総合政策	P-68, P-74	○

信州大学旭キャンパス 長野県松本文化会館 案内図

- | | |
|-----------|------------|
| 共通教育センター： | □頭発表・自由集会 |
| 学生食堂： | ポスター発表・懇親会 |
| 長野県松本文化会館 | |
| 中ホール： | 総会・シンポジウム |
| 国際会議室： | 特別講演 |
| 理学部： | 各種委員会・評議員会 |



共通教育センター案内図



日本鳥学会 2005 年度大会

講演要旨集

2005 年 9 月 16 日発行

編集・発行 日本鳥学会 2005 年度大会事務局
大会会長 中村浩志
実行委員長 堀田昌伸
実行委員 植松晃岳・植松永至
シンポジウム・
特別講演企画委員 中村浩志・堀田昌伸・植松晃岳
植松永至・樋口広芳・山崎亨
事務局 雪入朋子
会計監査 滝沢和彦
イラスト 箕輪義隆

〒380-8544 長野県長野市西長野 6-□
信州大学教育学部生態学研究室
Tel/Fax 026-238-4115
e-mail: seitajm@gjipwc.shinshu-u.ac.jp
web: <http://asahi-net.or.jp/~qe9m-htt/>

日本鳥学会

会長 樋口広芳
事務局 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学理学部動物生態研究室
日本鳥学会事務局
Tel/Fax 03-3985-2596
e-mail: osj@lagopus.com
web: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/osj/>